

校舎	室名	部屋数	規模	面積(m ²)	設備								学校開放	配置条件	備考			
					電話	LAN	TV	インターホン	放送設備 音声	常設スクリーン	空調	給水				給湯		
教室関係:教室は特に、日当たり、通風を配慮して配置し、各学年ごとのまとまりを重視する。形態やその配置の方法等については事業者提案とする。																		
教室面積計 2112	低学年教室	6	8m×8m程度	384		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 教室を基本とした構成とする。 接地させ、外部空間との連携に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 低学年の教育特性に留意した総合教室型の計画に配慮すること。 学童全員の作品が掲示出来るスペース(35×A3版)を整備する。 学童の私物の収納(ランドセル、楽器、お絵かきセット等)を設置する。 教室内の先生コーナーには収納と執務机を用意する。 教室からアクセスしやすい位置に手洗いを設置する。 	
	多目的スペース	1	面積はおおよその目安	288		○	○									<ul style="list-style-type: none"> 教室の近傍に設け、低学年の学習を支援するゾーンの構成する。 一クラスが、生活科のための簡単な実験、作業ができる空間を整備する。 教室を拡大した総合教室として活用可能な教室を整備する。 展示スペースの確保を留意する。 雨天時には小運動が可能な、学年集会ができる広がりをもつ。 雨天時には小運動が可能な、学年集会ができる広がりをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書コーナーやアルコーブなど低学年の特性にあわせた設えとする。 音環境に関して障害が出ないよう、吸音等適切に配慮する。 PCを活用した教育への対応として適切なコンセント配置・LAN接続配置を行う。 多目的スペース内に教師コーナーを設置し、同一学年の教員の共同業務を促進するように整備する。 	
	110 特殊学級教室	1		110	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 低学年エリアに設置 障害の度合いに応じ学童をグループ分けできるように配 状況に応じて他の空間の音を遮断できるようにする。 15m²の部屋を2部屋確保する。この部屋は、防音仕様の部屋で視察窓付きとする。 上記2部屋以外のスペースは、可動間仕切りにより2つに区分出来る部屋とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 言語指導に使用する防音仕様の部屋を2室とその他の活動用の部分に使用する機能を両立させる。 ノーマライゼーションに配慮して、孤立しない様に注意する。 作業等に利用出来る、同時に複数人が使用できる手洗い設備を整備する。 可動間仕切りにより、教室の一部を2分割することを可能とする。 可動間仕切り設置側に電話設備を用意する。 多目的便所を近傍に配置する。 	
	中学年教室	6	8m×8m程度	384		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを基本とした構成とする。 隣接する教室間の音響条件に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを活用した多様な学習展開に対応できる教室とする。 学童全員の作品が掲示出来るスペース(35×A3版)を整備する。 学童の私物の収納(ランドセル、楽器、お絵かきセット等)を設置する。 教室内には先生コーナーとして収納と執務机を設置できるスペースを用意する。
	672 多目的スペース	1	面積はおおよその目安	288	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室と一体となって中学年の学習を支援する。 学年毎に学年集会ができる広がりをもつ(中学年同士で兼用可)。 教材置き場・交流スペース・PCコーナー・教師コーナー・図書コーナーといった機能を組込んだスペース 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを活用した多様な教育内容に対応できるように配慮する。 掲示スペースを出来る限り設定する。 音環境に関して障害が出ないよう、吸音等適切に配慮する。 教室からアクセスしやすい位置に手洗いスペースを設置する。 PCを活用した教育への対応として適切なコンセント配置・LAN接続配置を行う。 多目的スペース内に教師コーナーを設置し、担任教師の執務机、収納スペース、カウンター等を用意する。
	高学年教室	6	8m×8m程度	384		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを基本とした構成とする。 隣接する教室間の音響条件に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを活用した多様な学習展開に対応できる教室とする。 学童全員の作品が掲示出来るスペース(35×A3版)を整備する。 学童の私物の収納(ランドセル、楽器、お絵かきセット等)を設置する。 習熟度別学習にも対応した設えとする。 教室内には先生コーナーとして収納と執務机を設置できるスペースを用意する。
672 多目的スペース	1	面積はおおよその目安	288	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 普通教室と一体となって高学年の学習を支援する。 学年毎に学年集会ができる広がりをもつ(高学年同士で兼用可)。 教材置き場・交流スペース・PCコーナー・教師コーナー・図書コーナーといった機能を組込んだスペースとする。 上記に加えて、静かに個別学習の出来るゼミ室(15人程度)を学年のまとまりに2室程度用意する。 特別教室、図書室等の積極的活用を考慮した配置計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> オープンスペースを活用した多様な教育内容に対応できるように配慮する。 掲示スペースを出来る限り設定する。 コンピューターを活用した個別学習に対応する。 多目的スペース内に教師コーナーを設置し、担任教師の執務机、収納スペース、カウンター等を用意する。 音環境に関して障害が出ないよう、吸音等適切に配慮する。 PCを活用した教育への対応として適切なコンセント配置・LAN接続配置を行う。 教室からアクセスしやすい位置に手洗いスペースを設置する。 	
特別教室関係:基本的な日射・通風条件等を考慮する(必ずしも南面させる必要は無い)。各群毎に整理した上で、全学年の児童の利用に配慮して配置するが、配置の詳細や形態等については事業者提案とする。																		
290	A群(コミュニケーション系)	1	最大120名程度(3クラス)が一度に利用できる広さ	200		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> シンボルとして環境の良い場所に設置。 地域開放時に利用し易い計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 豊かに食を愉しめる空間としての意匠に特に配慮すること。 120名が一度に食事がとれる椅子と机を用意する。 地域ふれあいセンターとの連携し易い計画に配慮する。 	
	調理実習室	1	一クラス40名が同時に調理できる大きさ	90		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ランチルームに隣接し、一体で食育教育を実施できるものとする。 地域ふれあい施設との連携利用を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 給水及びガス設備を備えた調理台(教師用・児童用(ともに2口ガステーブルコンロ又はIHヒーター付))を適切に配置する。 床は危険防止のためすべりにくい材質とする。 給水は作業台のほかに10箇所確保し、十分な広さと児童の利用にあわせた高さで設置する。 施設できる保管庫を設置する。 指差する側の実習台が、周辺から視認し易い教室形状・什器レイアウトの工夫が必要。 	
	家庭科室(被服室/理科講義室)	1	8m×10m程度 最大40名の学童が一度に利用	90		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 被服や軽作業のための空間とする。 理科の座学や軽実験にも対応するため理科室に近接した配置とする。 学校菜園・ピオーブとの位置に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ミシン等を保管する保管庫を設置する。 被服等の実習のため、作業用机を適正に配置する。 給水は作業用机のほかに10箇所程度設置する。(十分な広さと児童の利用に合わせた高さとする。) 作業台への電源供給に配慮する。 床は危険防止のためすべりにくく、薬品に強い材質とする。

凡例
●…暖房及び冷房
○…暖房のみ

校舎	室名	部屋数	規模	面積(m ²)	設備										学校開放	配置条件	備考	
					電話	LAN	TV	インターホン	放送設備 音声	放送設備 映像スクリーン	空調	給水	給湯					
B群(横断学習系) 386	家庭科準備室	1	8m×4m程度	32		○			○	○	○						<ul style="list-style-type: none"> 家庭科室に隣接して、行き来できる計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 床は危険防止のため滑りにくい材質とする。 専科教員の執務空間を設ける。
	理科実験室	1	8m×12m程度 最大40名の学童が一度に利用	100		○	○		○	○	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> 理科準備室と隣接し行き来ができること。 演習室(学校菜園)にアクセスしやすい位置とする。 学校菜園・ビオトープとの位置に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 床は危険防止のためすべりにくく、薬品に強い材質とする。 給水は実験用機のほかに10箇所程度設置する。(十分な広さと児童の利用に合わせた高さとする) 給水及びガス設備を備えた、実験用機(教師用・児童用(耐薬品・耐熱・耐水・耐衝撃性を備えたもの))を適性に配置する。 換気に配慮する。 調べ学習の掲示スペースに配慮する。 薬品保管庫(施錠できるもの)を設置する。 実験用機のほかに2箇所十分な広さで実験用具を手洗いでできるようにする。 床は危険防止のためすべりにくく、薬品に強い材質とする。 給水及びガス設備を備えた、実験用機(教師用)を適正に配置すること。 専科教員の執務空間を設ける。
	理科準備室	1	8m×4m程度	32		○			○	○	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> 理科実験室に隣接して、行き来できる計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 薬品保管庫(施錠できるもの)を設置する。 実験用機のほかに2箇所十分な広さで実験用具を手洗いでできるようにする。 床は危険防止のためすべりにくく、薬品に強い材質とする。 給水及びガス設備を備えた、実験用機(教師用)を適正に配置すること。 専科教員の執務空間を設ける。
	アトリエ(図画工作室)	1	8m×12m程度	100		○			○	○	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> ものを作る喜びを体感でき、ハードな作業にも耐えうる空間とする。 外部ワークデスクとしての屋外ワークスペースとの連携に配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 防音に配慮した施設とする。 製作途中の作品の保管スペースに配慮する。 給水に関しては作業しやすい十分な広さがあり、高さも児童が利用しやすいものとする。
	図画工作室準備室	1	8m×4m程度	32		○			○	○	○	○	○				<ul style="list-style-type: none"> 図画工作室に隣接して、行き来できる計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 収納棚・保管棚を出来る限り用意する。 専用の給水を10箇所程度設置する。 専用の手洗いの流しを設置する。 専科教員の執務空間を設ける。
C群(音楽系) 352	音楽室1(器楽演奏室)	1	8m×10m程度 最大40名の学童が一度に利用	90		○	○		○	○	●						<ul style="list-style-type: none"> 通常の音楽室として使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ピアノを設置する。 音楽室としての基本的音響性能ならびに適切な防音性能を備える。
	パート練習室	2	10m×2	20		○	○		○	○	●						<ul style="list-style-type: none"> 木管、金管等のパート練習に活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 基本的音響性能ならびに適切な防音性能を備える。
	音楽室2(小ホール)	1	200m ² 程度 1学年が鑑賞できる規模	210		○	○		○	○	○	●			○		<ul style="list-style-type: none"> 音楽の喜び、音読の発表、映像を使った学習など、様々な用途に活用。 視聴覚室としても活用する。 地域開放時に利用しやすい計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 平土間のステージを有し、完全暗転可能な施設とする。 ピアノを設置(グランドピアノ/新設)。 基本的音響性能ならびに適切な防音性能を備える。 調整等を設ける。 専用の照明・音響設備を備え、簡単な調整卓を設置する。 専用のプロジェクターとスクリーンを設置する。
	音楽準備室	1	8m×4m程度	32		○			○	○	●	○					<ul style="list-style-type: none"> 両方の音楽室に隣接する位置に設置する。 双方の音楽室より行き来できる計画とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 楽器等を収納する。 専科教員の執務空間を設ける。 スタジオ兼調整室の機能を整備する。
D群(メディア系) 288	コンピュータ室	1	8m×8.5m程度	68	○	○	○	○	○	○	○	●				<ul style="list-style-type: none"> 図書室に隣接させ、レファレンスコーナーとしての活用も視野に入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源、LANケーブル等は全て床下に格納できるようにOAフロア化する。 ノート型パソコン40台、レーザープリンター2台、液晶プロジェクター1台が同時に余裕を持って使用できる電源容量とコンセントを配置する。 	
	図書室	1		220		○	○	○	○	○	○	●			○		<ul style="list-style-type: none"> 学童にとって、その位置が認識しやすい配置に配慮する。 学童が利用しやすく、静かな環境を保つことが可能な位置とする。 開放時のセキュリティにも配慮した配置とする。 コンピュータ室に隣接させる。 学童クラブ・児童センター・地域ふれあいセンターの利用者が、図書室を利用し易いように配慮した計画とする。 一角に児童会執行部コーナー(約20m²)を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書室との一体的利用について配慮する。 児童センター、学童クラブ、地域ふれあいセンターの利用者が利用することも想定されるので、その場合はセキュリティ等に十分に配慮する。 無線LANの導入に配慮する。 交流スペースを配慮した計画とする。 貸出しカウンターは、児童による運営時・開放時の運営でも使い易い形態とすること。 閲覧・調べ学習・読み聞かせ等のコーナーを適宜整備する。 PCコーナーを独立して整備する。 多様な年齢層が利用する知的リソースセンターとしての意匠性を表現した空間とすること。 福祉施設からのアプローチに注意する。 オープンな設定としてメディアセンターとすることは、事業者提案とする。 床暖房設備を整備する。 児童会執行部のコーナーは、共用部側に掲示スペースを備え、出来る限り見通しの良い設えとする。
管理諸室 504	保健室	1		50	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○			<ul style="list-style-type: none"> 1階に配置する。 低学年エリアに近接した配置とする。 落ち着いた場所とする。 グラウンドから直接アクセスできる計画とする。 校内全体を見渡せる位置への配置を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 傷病者の搬出のための出入口や救急車の車寄せに配慮する。 手洗い、流し、浄水器、ベッド3台、薬品庫(施錠可能)を設置する。 ノートパソコン、デスクトップパソコン各1台を設置する。 ホルムアルデヒドの抑制等シックハウス対策に留意する。 低学年教室に近接出来る様、配慮する。 専用のシャワー・トイレ・更衣室を整備する。 屋外に面した箇所に足洗い場設置。 ケムレス対応の部屋とすること。 健康情報を掲示出来るスペースを整備する。
	職員室	1	職員一人当たり3m ² /人×35名	110	○	○	○	○	○	○	○	●	○				<ul style="list-style-type: none"> セキュリティに配慮し、校門の雰囲気や掌握できる位置に配置する。 1階に配置する。 昇降口の見える位置が望ましい。 周辺部に印刷室・湯沸室・書庫・倉庫を配置するように配慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> 電源、LANケーブル等は全て廊下に格納できるようにOAフロア化する。 コンピュータ25台、プリンター3台、プロジェクター1台が同時に余裕を持って使用できる電源容量とコンセントを配置する。 防災及び設備総合盤を設置する。 対話コーナーや休憩コーナーの設置を検討する。
	会議室	1	5m×8.5m程度	43	○	○	○	○	○	○	○	●					<ul style="list-style-type: none"> 校長室及び職員室に隣接し設置する。 	
	教育相談室	2	4m×4m程度	32		○			○	○	○	●					<ul style="list-style-type: none"> 普通教室と離れた位置に設置する。 保健室に近い部屋と職員室に近い部屋2箇所に分けた計画とする。 保健室と職員室の各々から出入りできる計画とする。 プライバシーに配慮した位置に設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> 分割利用に配慮した計画とする。 自然採光等による明るい雰囲気を持つ部屋とする。
	職員用更衣室	2	4m×4m程度	32					○								<ul style="list-style-type: none"> 管理諸室内に男女各一部屋ずつ設置する。 	<ul style="list-style-type: none"> ロッカーは、男女最低でも15人分ずつ設置出来る計画とする。

凡例
●…暖房及び冷房
○…暖房のみ

校舎	室名	部屋数	規模	面積(m ²)	設備							学校開放	配置条件	備考		
					電話	LAN	TV	インターホン	放送設備 音声	放送設備 映像スクリーン	空調				給水	給湯
校舎小計	放送室	1	5m×4m程度	20		○	○	○	○	○	●			職員室に近い位置に設置する。	・前室と収録室に区分する。 ・防音・遮音性能を満足する計画とする。	
	校長室	1	8m×4m程度	25	○	○	○	○	○	○	●	○		・職員室及び会議室と隣接した位置に配置する。 ・湯沸室と近接した位置とする。 ・来客のアプローチに配慮した計画とする。	・職員室及び会議室との出入り口を内部に設ける。 ・応接スペースを用意する。 ・専用の手洗いの流し(給付き)を設置する。	
	事務室	1	8m×4m程度	32	○	○	○	○	○	○	●	○		・教職員昇降口と隣接して設置する。 ・職員室・校長室と隣接して配置した計画とする。	・校門が見える位置に設置することに配慮する。	
	用務員業務従事者室(SPC控え室)	1	8m×4m程度	32	○	○	○	○	○	○	●	○	○	・地域ふれあいセンター事務室との連携し易い配置とする。	・SPC控え室と兼用する。 ・収納スペース・作業スペース・収納棚を適正に計画する。 ・換気に十分配慮した計画とする。	
	資料室	1	8m×4m程度	32		○		○	○						・管理諸室に配置する。	・棚を設置する。
	印刷室	1	8m×4m程度	32		○		○	○						・管理諸室に配置する。	・限られた空間の中で、作業時に使用勝手の良い什器・備品レイアウトとすること。
	倉庫	2	8m×4m程度	64											・1室は、職員室に隣接した位置とする。 ・1室は、利用しやすい位置に設置する。	・空きスペースを有効活用し、物入れを設置する。
幼児教育研究室	60													・相談・研究機能をもつ幼児教育研究室を開設する。	・ロッカーを設置する。(荷物入れ)	
給食関係	研究室	1	60m ² 程度	60	○	○	○	○	○	○	●	○		・管理諸室及び低学年の教室からアクセスし易い位置に設置する。	・相談業務に対応した部屋とする。 ・複数の相談を同時に行える設えとする。	
	調理室 (検収、洗浄室等含む)		800食が対応できる規模	350	○	○	○	○	○	○	●	○	○	・食材搬入車両が容易に進入できる位置とする。 ・動物飼育場等不衛生な場所に近接しない位置とする。 ・厨房事務室を併設する。	・ドライシステム化を図る。 ・外部からの異物混入を防止する設備を設ける。 ・各調理過程ごとに作業区域を明確に区分する。	
	休憩室	2	男女各1	上記に含む	○		○	○	○	○	●		○	・調理場等から3m以上離れた位置とする。	・和室とする。 ・白衣等の収納スペースを設ける。 ・男女別トイレ・シャワー室を設ける。 ・シャワー室用の更衣室を設置する。 ・洗濯機スペースを設ける。(1ヶ所)	
ワゴンプール	各階1ヶ所	配膳作業に必要な規模	30				○	○		●			・1階及び各階に設ける。 ・エレベーターから近接した位置とする。	・カート運搬以外の物品を置く棚を用意する。 ・外部からの異物混入を防止する設備を設ける。 ・ワゴン・カートの衝突に対して強度のある壁・扉の仕様とする。		
校舎小計				4,386												
共用部	昇降口、便所、給湯、廊下、階段等			1,314										・昇降口の位置は、アプローチ/グラウンド/クラスルームとの位置関係に配慮し、学童の移動がスムーズに出来るように計画する。	・昇降口には学童の寸法に適合した靴箱・傘立てを整備する。 ・廊下には適宜掲示出来るスペースを整備する。 ・壁・扉は耐衝撃性の高い強度を確保し、カート・ワゴンの衝突保護に配慮すること。 ・トイレは、学童の居住スペースの一部として、明るく清潔で楽しく使用できる様に配慮する。 ・すべてのトイレは、衛生管理し易く、汚れ難い仕様とする。 ・最低1箇所のトイレは、オストメイト対応とし、温水供給を行うこと。 ・衛生器具は、節水対策品を選択すること。事業者による節水提案を行うこと。 ・給湯器・加熱調理器具は、安全性の高い器具を提案すること。	
校舎合計				5,700												
体育館	アリーナ	1	ミニバスケットコート2面を並列して確保出来る規模	960		○		○	○	○			○	・校舎から近く、利用し易い配置計画とすること。	・児童から一般市民まで利用できる施設とする。 ・バドミントン等で利用できるように天井を12.5m以上確保する。	
	ステージ	1	天井裏に上がれる計画	180				○	○				○	・観覧スペースを確保する。 ・椅子(400脚)の収納スペースを設ける。 ・壁はフットサルに対応できる強度とする。 ・避難場所としての機能を有する提案とする。	・ステージ床下への椅子・机の収納設備(可動式)を設置する。 ・横断幕等の昇降装置を設置する。 ・照明を多く設置する。 ・収納式のスクリーンを設置する。 ・アリーナを区切るネットを設置する。	
	防災備蓄用倉庫	1		60									○	・1階に設置し、外部からも使用できる様に配慮する。 ・物品の搬出入に車両を利用し易い位置とすること。	・倉庫は、耐火・耐震構造とすること。 ・体育館の内外から出入可能とし、施設も可能とすること。 ・体育館の隣接する場所に災害用井戸を設置する。	
	収納倉庫	2	学校用開放用	50 30									○	・学校用と一般開放用を分けて1室づつ設置する。	・施設設備を設置する。	
	トイレ	2		60								○	○	・男女別に設置する。	・女性用には、幼児同伴シートやオムツ替え台を設置する。 ・一部を、グラウンドから使用可能なものとする。 ・停電時にもトイレを利用出来るような仕組みとする。	
身障者用トイレ	2		上記に含む								○	○	・男女別に設置する。	・手摺を設置する。 ・オストメイト対応に配慮する。		

凡例
●…暖房及び冷房
○…暖房のみ

校舎	室名	部屋数	規模	面積(m ²)	設備							学校開放	配置条件	備考			
					電話	LAN	TV	インターホン	放送設備 音声	放送設備 映像	空調				給水	給湯	
160	更衣室	2		70				○	○		○	○	○	男女別に設置する。	男女別に40人程度のロッカーを設置できるものとする。 洗面設備・水飲み場を整備する。		
	シャワー室	2		上記を含む								○	○	男女別に設置する。	男女各3ブース程度用意する。		
	ボランティアビューロー	1	8m×4m程度	30	○	○	○	○	○	●	○	○	○	更衣室と一体化した計画とする。 開放利用時の利便性向上のため、わかり易い位置に配置する。 会議にも使用するので騒音・振動に配慮する。	地域ボランティアの運営拠点として機能する。 ミニキッチン若しくは洗面台を用意する。 上記には、温水を供給する。 体育館用開放玄関と事務機能を含む。		
	体育館合計			1,440 (共用部を含む)													
180	集会室	1	100人収容できるスペース	120	○	○	○	○	○	○	●			1階に配置する。	舞台を設ける。 フローリング床とする。 プレイルームと隣接し、一体としての活用にも配慮した計画とする。		
	和室	2	12帖×1室 8帖×1室	50	○	○	○	○	○	○	●	○	○	1階に配置する。 地域ふれあいセンター利用者が、学校図書室を利用し易い計画とする。	12畳・8畳各1室、一室としても利用できるような配慮する。 茶道教室用として炉及び水屋を整備する。 学校図書室との連携利用を工夫した計画とする。		
	会議室	1		50	○	○	○	○	○	○	●			1階に配置する。 地域ふれあいセンター利用者が、学校図書室を利用し易い計画とする。	20人用会議室 隣室に調理室を整備する。 会議室は、調理室との一体利用が可能とするように配慮する。 学校図書室との連携利用を工夫した計画とする。		
	プレイルーム	1		150	○	○	○	○	○	○	●	○	○	学童クラブのプレイルームと連携可能な位置とする。 1階に配置することが望ましい。	集会、遊戯、体育等に利用する。 乳幼児を伴った父兄の利用にも配慮する。(子育て支援機能) フローリング床とする。 遊具保管庫が必要。		
	図書室	1		50	○	○	○	○	○	○	●	○		プレイルームに近接(静粛性に配慮)する。 児童センターの利用者が、学校図書室を利用し易い計画とする。	学校図書室との連携利用を工夫した計画とする。 書棚と読書コーナーの配置に配慮する。		
	工作室	1		50	○	○	○	○	○	○	●			プレイルームに近接する。	防音に配慮した施設とする。		
	管理・共用部門	1	事務室、倉庫、ホール、トイレ、給湯等	150	○	○	○	○	○	○	○	●	倉庫、トイレ等を除く	○	湯室・給湯室のみ	ふれあいセンター、児童センターで共用出来る計画とする。 会議室に隣接させた調理室を設置する。 玄関付近には、展示空間の整備を考慮のこと。	身障者トイレ(男女別)を設置する。 会議室と隣接した調理室を用意する。部屋にはキチネットを2台用意する。 調理室ではキチネットを利用した調理を行い、試食を会議室で実施する。 食事出入れのカウンター下には、必要な電源・給排水設備を用意する。 調理室からは集会室へも食事の提供が出来るように配慮する。 トイレは、各階に設置する。 オストメイト対応に配慮する。オストメイトトイレには、温水設備を設置のこと。
	学童クラブ(生活室)	1		200		○	○	○	○	○	○	●	○	○	1階に配置する。 児童センターのプレイルームと連携可能な位置とする。 外部から直接出入り可能とすること。 学童クラブの児童が、学校図書室を利用し易い計画とする。	授乳室を設置する。 タタミコーナー(45㎡、30畳程度)、リビングコーナー(50㎡程度)、フローリングコーナー(105㎡程度)を設置し、学童のスケールに合わせた空間とする。 カウンターを設け、給湯を設置する。 カウンター内にIHクッキングヒーター(2口)を組込んだ流しを設置のこと。 遊具保管庫が必要。 学校図書室との連携利用を工夫した計画とする。	
	事務室、倉庫、ホール、トイレ、給湯等			40	○	○	○	○	○	○	○	●	○	給湯室のみ	ふれあいセンター、児童センターとの共用可能な位置とする。	多目的トイレを設置する。 学童クラブ専用の事務室を設定する。	
	合計				860 (共用部を含む)												
総計				8,000													

【記載事項の説明】

面積の項にて赤字で記載された数字は、最低必要面積を示す。その他の面積については、±5%以内に納めること。
児童センターについては、管理・共用部門の面積を含め、336.6㎡以上の面積を確保すること。

【屋外施設】

- 屋外運動場: 100mの直線及び150mトラックが確保できる広さとする。防球ネット、運動遊具、屋外倉庫等の要求。少年野球、少年サッカー、地域開放の要求。
- 低学年・幼児用グラウンド: 1年生教室及び幼児教育室に隣接して配置。
- 学校菜園: 約200㎡程度。日照に配慮する。
- ピオトープ: 事業者提案。
- 屋外プール: 25m×8コース、更衣室(体育館用と併用可能とする)、シャワー室、トイレ併設。
- 駐車場: 自走式平置40台(身障者用を含む・増築用地分台数を含む)
- 駐輪場: 30台(屋根つき、平置き)
- 体育館付近に防災用の井戸を設置する。
- 将来の幼児教育施設の増築用地を600㎡程度確保する。その土地利用方法は、事業者の提案とする。
- 遊具に関しては、安全性に配慮した配置とすること。遊具と通路部分を明確にした整備を行うこと。

凡例
●…暖房及び冷房
○…暖房のみ